

山田 貴子 議員

「心の健康」を

身につけさせているか

問 幼児期において、「生命の尊さ」「生きる幸せ」を、どのように指導しているか。

答 家族の愛情を支えに、子どもたちは友達や先生との触れ合いを楽しみ、生き物を飼育することで、生命の尊さを感じている。子ども一人一人の達成感が喜びにつながるように指導している。

いじめや不登校の無い

学校現場にしたいが

問 「いじめ防止」について、どのような対応をしているか。

答 道徳の授業で学習するとともに、いつでも相談できる体制を整えている。また、子ども同士がいじめについて討論する機会を設定し、子ども同士で意識を持たせている。



うさぎの世話をする幼稚園児

非常勤嘱託職員の安定雇用と

待遇面の整備が必要

問 公共サービスの質の向上のために、働きに見合った待遇が必要と思われるがどうか。

答 勤務評定制度を昇給や再任用に反映させている。また、福利厚生や社会保険、雇用保険への加入などの環境づくりに加え、公務員としての服務や接遇に関する研修を受講させ、資質向上に努めている。

竹原 和義 議員

巡回バスに軽便鉄道の活用を

問 軽便鉄道をイメージしたハイブリッド使用のDMVを、遠州三山の巡回バスなどに活用してはどうか。

答 自主運行バスや遠州三山巡回バスとして、市内を巡回すれば、PR効果も高まり、利用促進や誘客促進に向けて興味深いものだが、経費の問題等もあることから研究していきたい。

高効率バイオエタノール

生産技術の活用を

問 竹からの高効率バイオエタノール生産技術を活用することで、本市の放置竹林の解決方法とらないか。

答 竹林を活用するシステムが確立すれば、大変役立つものであるので、実証試験の結果、有効と確認できれば、取り組みに向けて検討したい。

避難施設へ

高出力自家発電機の設置を

問 避難施設には、高出力の移動式自家発電設備が必要であると考えるがどうか。

答 市の災害対策本部となるコスモス館には、非常用電源設備を整備したが、多額な費用がかかることから、避難施設への設置については、必要性などを考慮し、検討していきたい。



浅羽記念公園に展示されている軽便鉄道のSLレプリカ